

気仙沼津谷大沢地区レポートその5

10月22日、10月15日の話し合いの結果を踏まえて、想定されるメンバーで組織の話し合い、一つ一つ確認しながら話し合った意見の中にやや温度差が感じられることから、目標や計画の柱を先ず打ち立てる必要がある。

議 題	津谷大沢区 震災復興計画策定準備会議	日にち	平成 23 年 10 月 22 日
		時 間	19 : 00 ~ 21 : 00
場 所	復興に向けた 新しい公共の場づくり協議会 気仙沼事務所	参加者	・津谷大沢区振興会 22 名 ・復興に向けた新しい公共の 場づくり協議会 4 名

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ○「震災復興計画策定に向けた組織について」 ○「(仮称)津谷大沢区震災復興会議設置要綱(案)」 ○「(仮称)津谷大沢区震災復興会議委員構成(案)」
会議事項 及び 話し合いの 結果	<ul style="list-style-type: none"> ○震災復興計画策定に向けた組織について <ul style="list-style-type: none"> ・組織の必要性とあり方、組織づくりの流れについて(説明:村中) ・震災復興会議を振興会内部に位置づけることで同意。 ○津谷大沢区震災復興会議設置要綱(案)について <ul style="list-style-type: none"> ・震災復興を地域あげて取り組むため会議を設置する。 ・震災復興計画の策定、計画の推進に取り組む。など ・要綱は平成23年10月30日から施行とする。 ○津谷大沢区震災復興会議委員構成(案)について <ul style="list-style-type: none"> ・復興会議メンバー現34名の紹介、更に推薦により数名の名が上がりメンバーの賛同を得た。 ○津谷大沢区震災復興会議の設置について <ul style="list-style-type: none"> ・次回平成23年10月30日(日)午後7時からの第一回津谷大沢区震災復興会議をもって設置とする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な復興計画を策定する。そのためにも被災状況、被災記録と地域の意見、意向をまとめる。 ○定期的に「振興会だより」の発行、仮設住宅を含めた住民への配布を行う。 ○会議は見直すなど柔軟に進めていければ良い。 ○直売所の設置を検討できないであろうか。 ○大沢のスタートが他地区のモデルになる。

